

佐呂間町営スキー場

北海道の冬といえば「雪」。佐呂間町営スキー場は小中学生のスキー授業をはじめ、幼児のそり遊びから高齢者まで、幅広い年齢層に利用される、町民馴染みのゲレンデです。

一人乗りリフトに夜間照明を完備、さらに圧雪車を配備しているので、どんな条件でも快適に滑ることができます。リフトの待ち時間もほとんどゼロ。

小さな子どもの冬遊びデビューや小学校入学前のスキーレッスンには最適です。

詳しくは「佐呂間町ホームページ」

「施設案内」：「スポーツ・文化施設」「スキー場」をご覧ください。



2016年1月4日オープン予定

【東京サロマ会】首都圏に住む佐呂間町出身者等で組織して25年を迎えます。江東区民まつりでのサロマ物産展開催のほか、オホーツク・サロマの旬の毛ガニやホタテを食べる集い、ふるさと旅行などを開催しています。会費等不要、佐呂間町出身者以外の方も入会できます。

◆連絡・問い合わせ先：西沢孝洋(たかひろ)さん
電話 047-449-2107 メール：tm24-sawa@nifty.com

ホテルグランティアサロマ湖は平成27年10月13日から冬期間の休館中です。サポーター特典にある日帰り入浴もご利用できませんのでご了承ください。
サポーターズ倶楽部PRリーフレットを同封しています。改めて「さろサポ」会員拡大に協力願います。

発見 サロマの魅力！



かつては酪農とともに佐呂間町の主要畜産だった養豚ですが、20年ほど前に60戸ほどあった養豚農家も現在では4戸で、飼育頭数6,000頭ほどになっています。

しかし、徹底した衛生管理や豚舎内の温度管理により「豚にストレスを与えない環境づくり」をすすめ、クセがなく、あっさりしているのに旨味はしっかりしている豚肉をつくり「サロマ豚」のブランド化に成功しています。

その肉質の良さは北海道枝肉共例会の団体優秀賞一席を二年連続で受賞するなど、数々のコンクールで入賞する折り紙つきで、食の本場、関西でも高い評価を得ています。

生産者4戸の目標は「消費者に選ばれる豚肉」で、そこにはTPPなど厳しい農業情勢に立ち向かっていく熱い思いが込められています。

町内では「道の駅サロマ湖」のサロマ豚丼など多くの飲食店でサロマ豚メニューが誕生しています。

- ◆サロマ豚生産者 () 内は字名
- 平戸鉄也農場 (川西)
 - 山内茂夫農場 (大成)
 - 柳原 悟農場 (共立)
 - 小西利幸農場 (栃木)



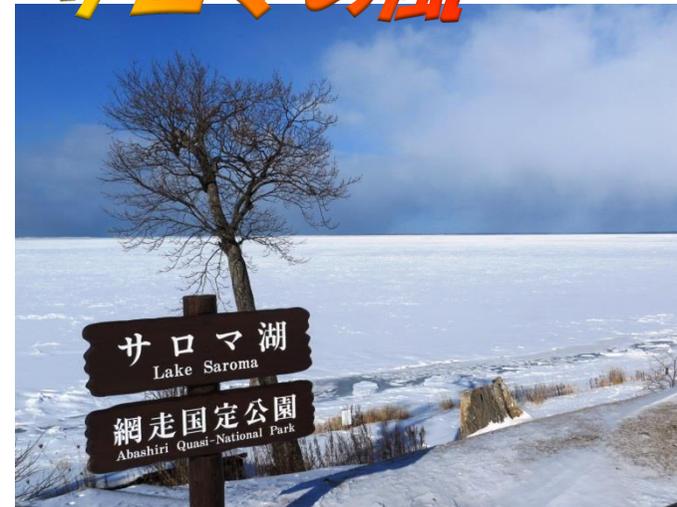
佐呂間町役場企画財政課

〒093-0592

北海道常呂郡佐呂間町永代町3番地1

Tel 01587-2-1214 Fax 01587-2-3368

サロマの風



冬の寒さが厳しくなる時期、地元の漁師さんと顔を合わせると「サロマ湖、凍った?」「もう少しだね〜」。サロマ湖の結氷確認が挨拶代わりにになります。

日本で三番目に大きな湖「サロマ湖」。その面積は152k㎡で、山手線内側の2.4倍ほどもある、塩水湖では日本で一番広い青々とした湖面が、自然の力で白い氷原に変わります。

サロマ湖が全面結氷するのはごく自然なことですが結氷している期間は時代とともに短くなってきています。1980年以前では15年中13年がひと冬に100日以上以上の結氷でしたが、1980年以降では100日を越えた年が一年もありません。地球温暖化の影響はサロマ湖にも現れているのです。

佐呂間では、夜の最低気温が氷点下10度で「序の口」、15度で「まあまあ」、20度で「本格的」。年が明けると寒さも本格的になってきて、サロマ湖も一気に凍り始めます。

一昨年は2月14日に全面結氷しましたが、昨シーズンは6年ぶりに全面結氷しませんでした。果たして今冬の全面結氷日はいつになるのでしょうか。

追伸：「サロマ湖養殖漁業協同組合」のHPから「現在のサロマ湖」撮影写真を見ることができます。

We ♥ Saroma

佐呂間ダイアリー



◆ 10月

- 2日 安保眞 現代墨絵アートふるさと展（～8日）
- 4日 2015 サロマ大収穫祭
- 8日 台風 23 号温帯低気圧による暴風雨被害発生
- 30日 笈口タマさん百寿祝贈呈



◆ 11月

- 3日 平成 27 年度佐呂間町功労者表彰式典
〔自治功労〕 吉澤和弘氏（若里）
〔消防功労〕 面 栄次氏（若佐）
第 7 回ふれあいチャリティーステージ
- 4日 コープさっぽろ高齢者等の地域見守り活動協定締結式
- 15日 ミュージックフェスティバル vol.26
- 19日 クリニックさろま新医療施設落成式
- 22日 サロマ湖牡蠣まつり
- 24日 クリニックさろま新医療施設外来診療開始
- 27日 日本ハムファイターズ市町村応援大使
交流会（増井弘俊投手・石井裕也投手来町）

◆ 12月

- 6日 サロマでしゃべろ場
- 21日 交通安全総決起集会
田中袈裟美さん百寿祝贈呈



佐呂間町の世帯数と人口（平成 27 年 11 月 30 日）

世帯数 2,530 世帯 人口 5,514 人
 佐呂間町サポーターズ倶楽部人口 753 人
 合計 6,267 人
 [前号人口比較 164 人増加]

町民の出生届と死亡届 さろサポ新規登録届

10月 出生 3 人 死亡 7 人 153 人
 11月 出生 1 人 死亡 6 人 44 人

佐呂間町サポーターズ倶楽部会員の森ホームページ
 11 月に実施した牡蠣貝抽選会応募ハガキに添えられたコメントを掲載しました。

当日の運営スタッフのほか、かまくら・雪山すべり台
 などの製作を一週間ほど前から行います。
 自分たちの雪像づくり体験もできます。



総工費（建物のみ）約 10 億円をかけて建設していた町立診療所「クリニックさろま」（入院病床 19 床）が 10 月に完成して、11 月 24 日から新施設で診療を開始しました。

佐呂間厚生病院の無床診療所への転換にはじまり、常勤医の不在など地域医療の後退が続いていましたが、平成 26 年 4 月に医療法人恵尚会による運営開始から二年を経て、新しい医療機器の配備など佐呂間町の一次医療体制が整い、町民の間にも安心が広がっています。

ホタテに次ぐサロマ湖名産の牡蠣貝。水揚げ時期が 10 月下旬から 3 月で、今秋のサポーターズ倶楽部抽選会でも大人気だった、サロマ湖の冬の味覚です。

11 月 22 日には佐呂間漁業協同組合と道の駅サロマ湖の併催による『1 トンの牡蠣を食べつくせ』サロマ湖牡蠣まつりが開催されました。

当日は雪交じりの寒空でしたが「大人 1000 円 食べ放題」とあって、佐呂間町外からも沢山のお客様が来る大盛況でした。



サロマ応援イベント

■ 第 17 回かまくら冬まつり

日時 平成 28 年 2 月 21 日（日曜日）10：00～13：30
 場所 佐呂間町民センター駐車場/老人福祉センター
 事前予約先：佐呂間町社会福祉協議会 電話 01587-2-3732

2015 年 11 月「殻付き牡蠣貝」抽選会当選番号

01040 01159 01197 01303 01325
 13010 13062 13086 14019 22001

多くの皆様から応募をいただき、厚くお礼申し上げます。